

愛玩動物看護師
動物看護助手
動物ケアスタッフ

飼い主を支える、 チームを支える



～動物看護師が実践できる動物医療ソーシャルワークの第一歩～

「動物医療ソーシャルワーク / Veterinary Social Work」は、人の福祉と動物福祉の両方を守っていく仕事です。本来福祉の専門職の領域ですが、愛玩動物看護師が担えることがたくさんあります。動物をケアするだけでなく飼い主に寄り添うことが求められる愛玩動物看護師は対人援助職ともいえます。VSWの知識を持つことは、動物と飼い主、さらに自分自身とスタッフを守ることに繋がります。

愛玩動物看護師 / 動物看護助手 / 動物ケアスタッフだからこそできることがあります。人と動物の双方をケアする職としての活躍の場を広げていきましょう。



こんな方におすすめ

- ✓ 動物医療における「福祉」や「心理支援」に関心のある方
- ✓ 飼い主に寄り添いたい、看護を極めたいと感じている方
- ✓ 飼い主対応やグリーフケアに課題を感じている方
- ✓ 動物看護師としての自分の役割を再定義したい方

募集要項

日程 2026年3月19日(木)
時間 14:00 - 16:00 (受付開始13:30)
対象 愛玩動物看護師、動物看護助手、動物ケアスタッフ
受講料 5,000円(税込) **定員** 30名
形式 オンラインLIVE配信 ※アーカイブ配信あり

ご用意いただく物

お1人様1端末(カメラ付きPC、スマートフォン、タブレット)
(WEB会議システム「Zoom」使用 ※Wi-Fi環境推奨)

講師紹介

山川 伊津子 Itsuko Yamakawa

ヤマザキ動物看護専門職短期大学 学長
動物トータルケア学科教授
博士(学術)・社会福祉士・精神保健福祉士

長年にわたり動物看護教育に携わり、臨床現場と教育現場の架け橋として人材育成に尽力。
動物を介在させた人の福祉とそれに伴う問題を Veterinary Social Work の視点から教育・研究し、小学校や高齢者施設で活動を実施している。



プログラム

動物医療ソーシャルワーク(VSW)とは何か

- ・ VSWの定義と目的
- ・ 海外の取り組みと日本での可能性

対人援助職としての動物看護師

- ・ 動物をケアする職から人と動物の双方をケアする職へ
- ・ 感情労働と共感疲労を理解する

動物看護師としての役割

- ・ 動物介在介入
～ 動物が人の心と社会をつなぐ ～
- ・ ペットロスと向き合う
～ グリーフケアラーとしての関わり ～
- ・ 飼い主に寄り添うコミュニケーション
～ 説明・相談・指導の技術 ～
- ・ 虐待・ネグレクトを見抜く
～ 小さな“変化”に気づく視点 ～
- ・ チームスタッフのメンタルヘルスを守る
～ 仲間を思い合う職場づくり ～

動物看護師が担うVSWの未来

- ・ 動物医療の中の福祉 ～ 治すから支えるへ ～
- ・ 動物医療における看護職の社会的価値
- ・ VSW思考を持つ看護師が増えた未来

右記QRコードよりお申込みください。

※お申込みには無料会員登録が必要です。
※決済方法はクレジットカード決済のみとなります。

